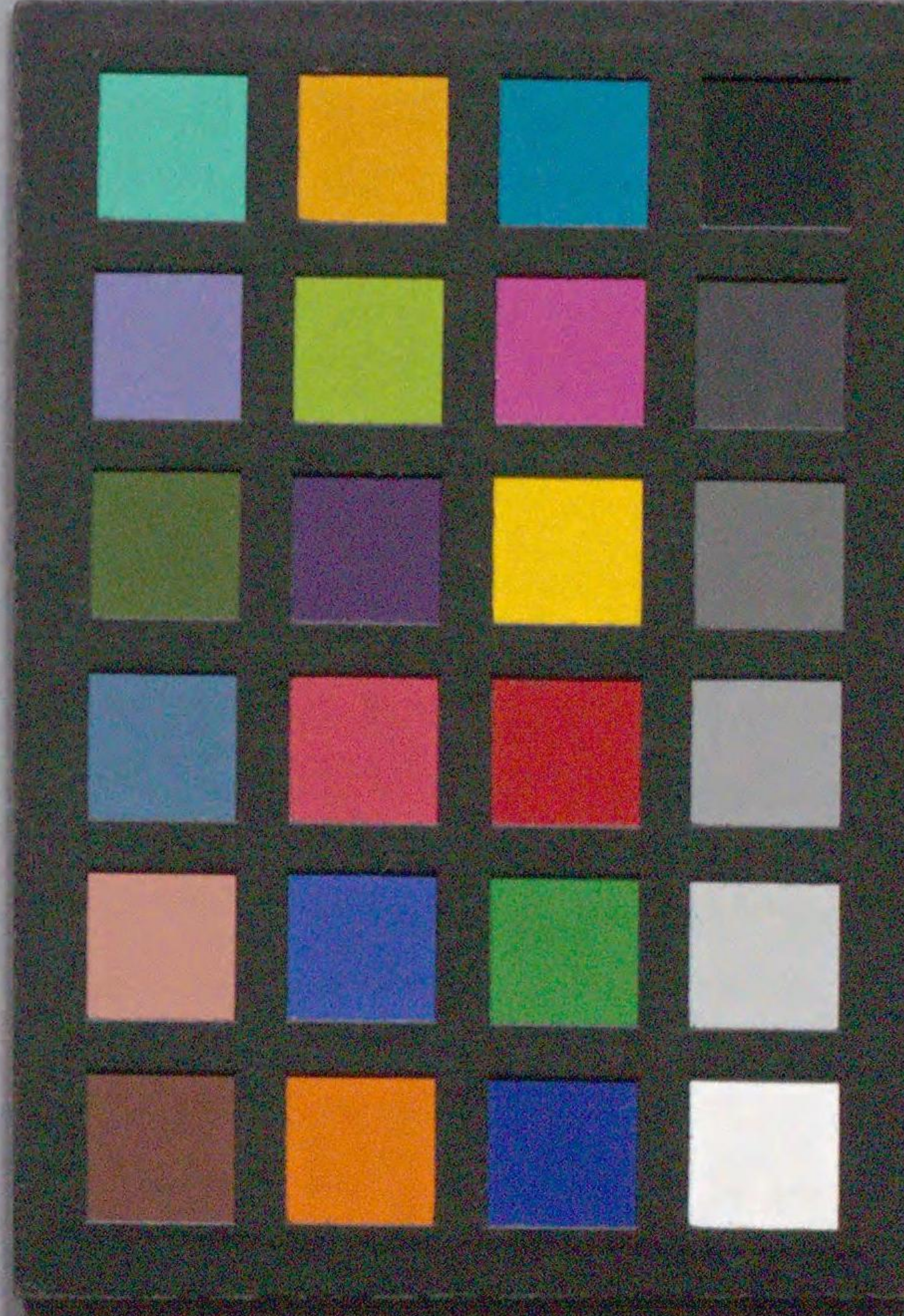
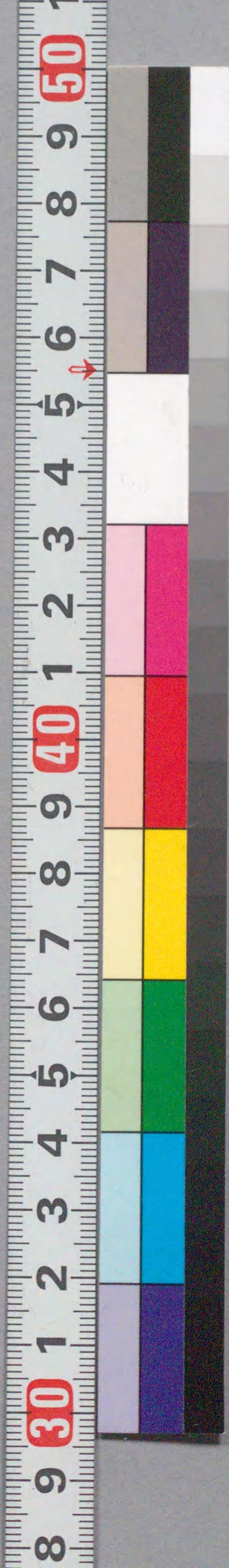


国立国会図書館 花見帰鳴呼怪哉 : 2巻 207-16



ガラス使用

花見帰鳴呼怪哉
其所以
也

207
16

花見

安永二年

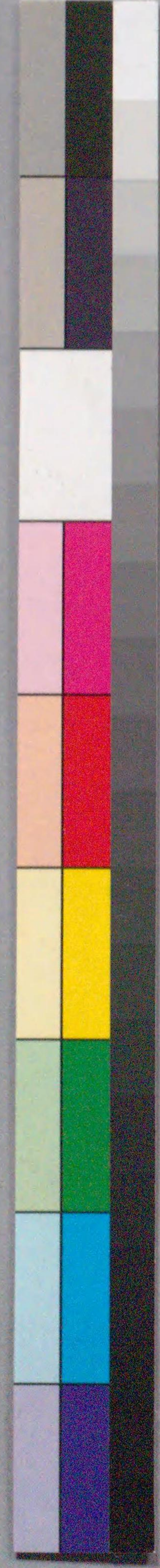
花見

鎮西

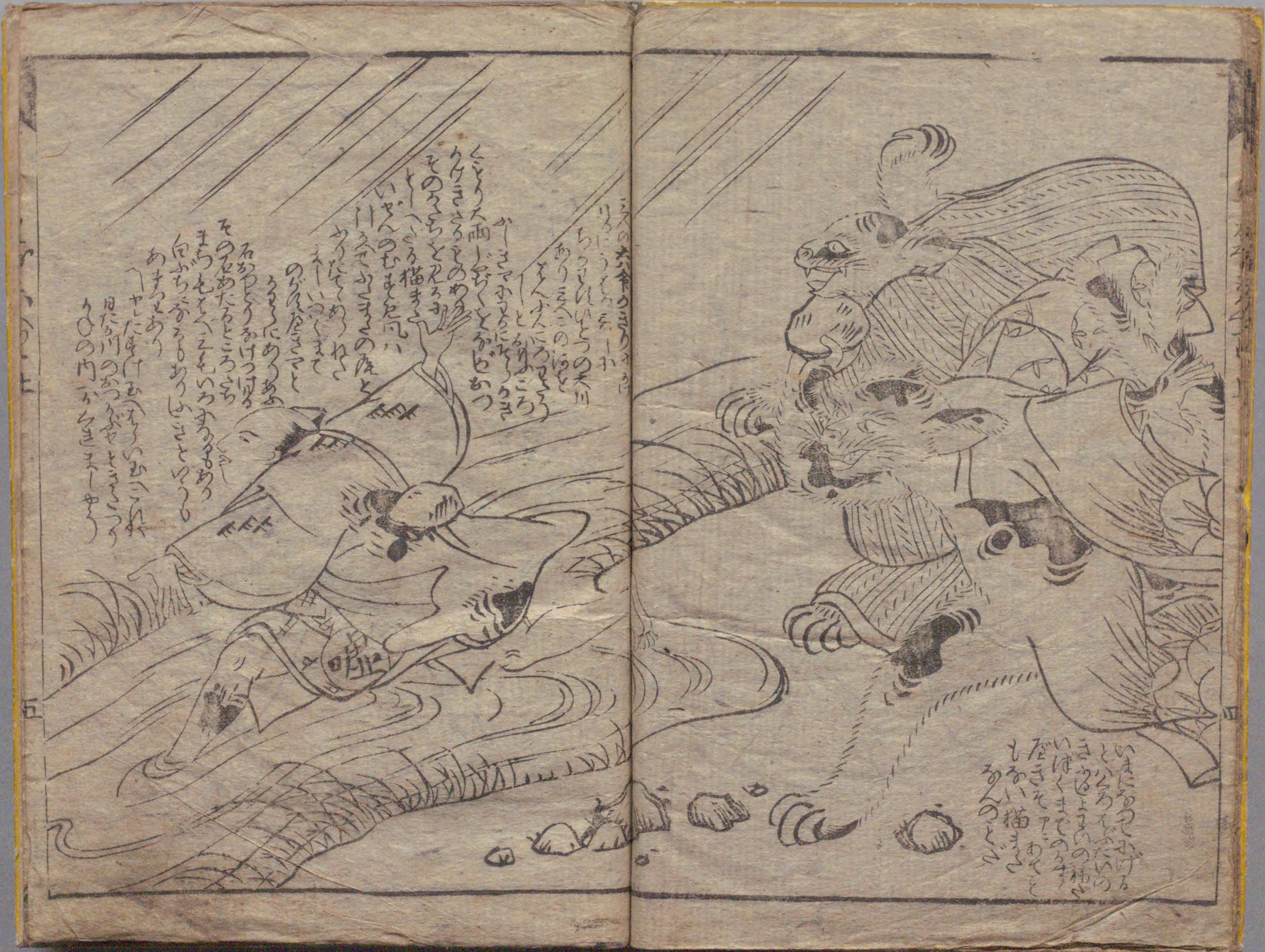














三つあめまうき命とてにどたり我をよ
ごして久に夜もまやけ
にたりはれがなむもはあやまを
てある

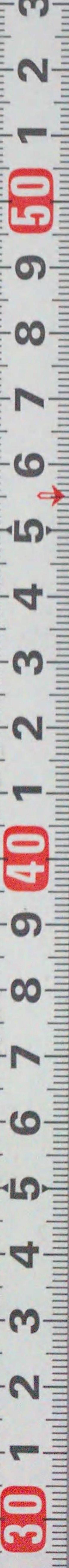
人おちりて
やうとほ
あつたま
ごりたれ
こりて
こりて
さみの
さみの
とほの
とほの
とほの



あつたま
ごりたれ
こりて
こりて
さみの
さみの
とほの
とほの
とほの

ちう庵やうちを
あつたま
ごりたれ
こりて
こりて
さみの
さみの
とほの
とほの
とほの

錦鯉戯作
徳川春町画開





らう庵まつまけみ
 行まじよりたい所へ
 てんじふみかみ者
 かりえのてふかのみ
 ちまきまのへみい
 ありたのひだま
 ありまのひだま
 のいばき
 やま

まくろ
 がのこころを
 ひらぐぢんか
 ひらぐぢんか
 ぬきんてん
 うたあそび
 だたあそび
 だたあそび

大のあそびもやうやくの
 久そるに夜けあし
 まひくをえておせど
 ちやどど戸あり
 ちやどど戸あり
 ちやどど戸あり

ちやどど戸あり
 ちやどど戸あり
 ちやどど戸あり

ちやどど戸あり
 ちやどど戸あり
 ちやどど戸あり



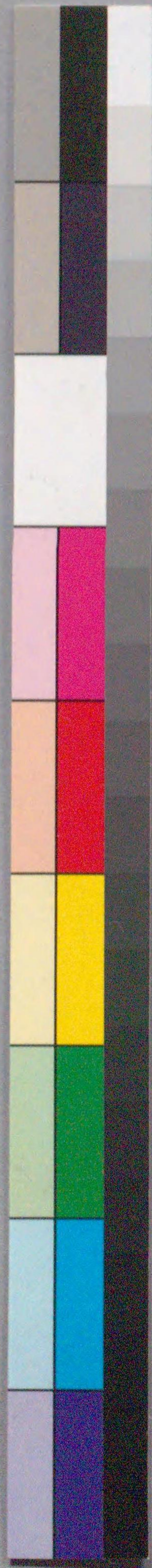




207
16

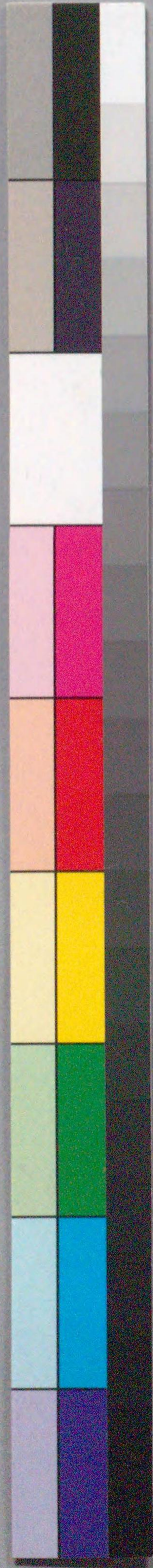
安永六丁酉春新編。
錦鱗先生述作奇哉。
妙哉。舉世弄翫之東。
都人民捧腹絶倒正焉。
鹿門山人録



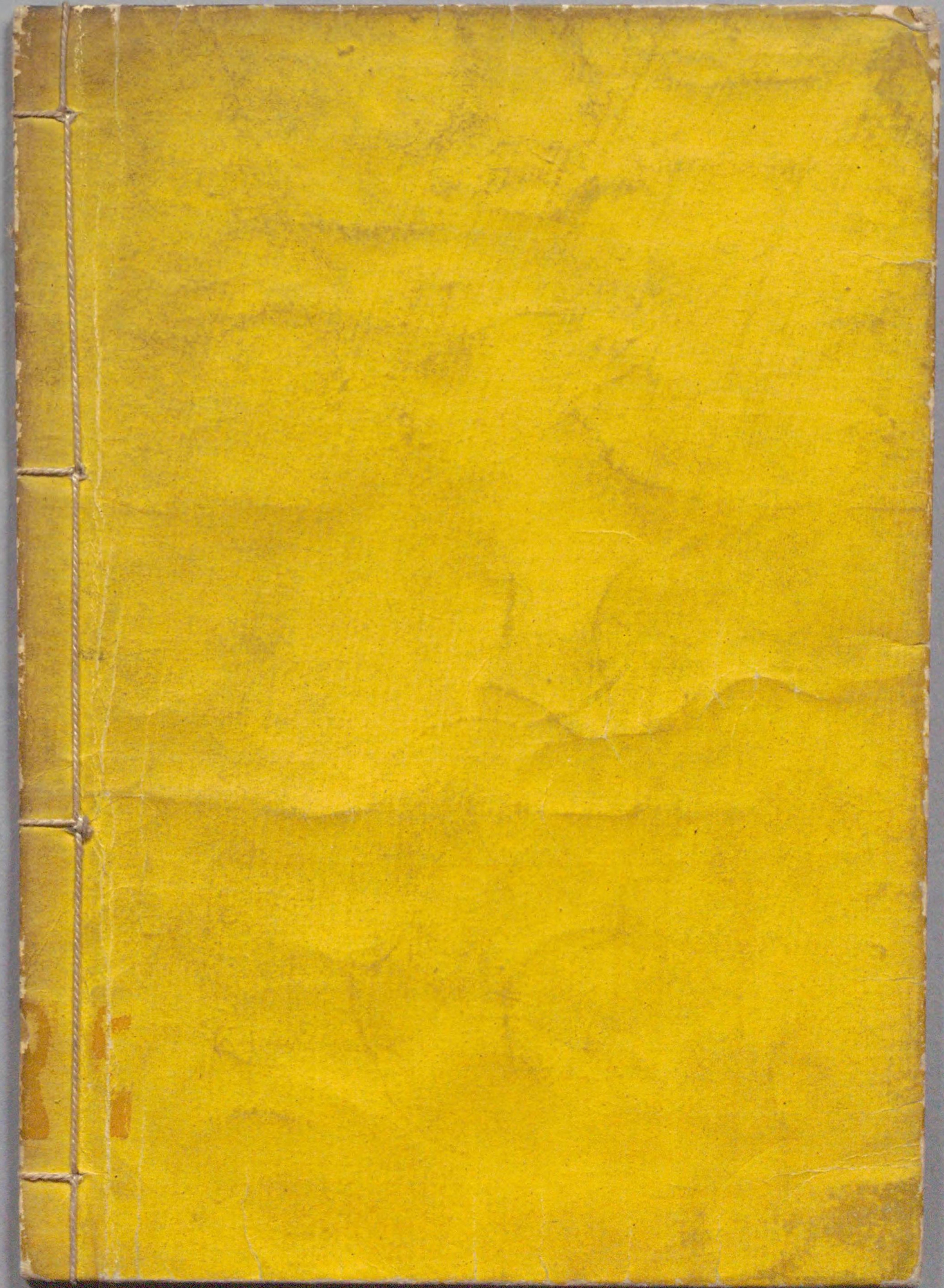


国立国会図書館 花見帰鳴呼怪哉 : 2巻 207-16

ガラス使用



国立国会図書館 花見帰鳴呼怪哉：2巻 207-16



ガラス使用

